

出水市

出水市生活学校

団体の紹介・活動の目的

出水市生活学校は、主体メンバー44名で、行政や自治会との関係を密にしながら自主性を持って活動している団体です。

「生活学校」は、女性を中心に、日常生活の身近な暮らしの中にある問題や課題について、学び、調べ、実践活動を通して、明るく住みよい地域づくりを目指していくグループです。

活動の内容

私たちは年間を通して、春は「緑の募金運動」、夏には「めんつゆ、焼き肉のたれ、ゴキブリだんご作り実習」「水源の森づくり事業 東光山下刈ボランティア」「EMぼかし作り」「学習会」、秋には「研修視察」「買い物袋持参率調査」、「文化祭」でグラフ展示やエコチェック等を行い、「産業祭」ではフリーマーケットに参加、冬には「料理実習」「EM廃油石けん作り」を行っています。また、「食品ロス削減」に5年前から取り組んでいます。

連携・協力している団体など

出水市女性団体連絡協議会、出水市自治会連合会、出水市役所



① 「出水地域文化祭」

出水地域文化祭に毎年参加し、年間の活動記録として、グラフや写真、製作品を展示し、エコチェックアンケートや抽選会を行っています。



② 「EM廃油石けん作り」

毎年冬季に、廃油を使ったEM廃油石けん作りを行っています。石けんを成形する際、豆腐のトレーや牛乳パックを使い、資源リサイクルにも一役買っています。



③ 「出水市産業祭」

出水市産業祭のフリーマーケットに毎年参加し、家にある不用品や服を販売しています。個人の売上手数料、団体としての売上収入があり、生活学校の活動資金としても助かっています。



④ 「買い物袋持参率調査」

毎年10月15日は、マイバッグ持参運動の一環として買い物袋持参率調査を、出水市内の大手5店舗で、行っています。